

◆坂東33札所を完歩しよう◆①

～根岸森林公園と弘明寺観音～

日時:2020年11月15日(日) 天候:晴れ 16000歩 約10km

集合:JR根岸駅 10時

コース:根岸駅→白滝不動尊→根岸森林公園→市電保存館→丸山市場→三殿台遺跡→弘明寺(解散)

参加者:平石(L) 勅使河原 平嶋 小作 熊坂 高橋文 青松 小林 山内 伊藤美 小島 桑原 武倉 吉岡 佐々木貴
佐々木忠 福田 新井 篠 計19名

この日は早速弘明寺観音の“ご利益”が有りました！ というのも機関誌上での予定距離は12kmとなっていたのですが、結果はやや短くなっての10km。いつも距離が延び気味のリーダーですが、今回は特段の“思し召し”を頂いたようでした。

朝から青空が広がり絶好のウォーキング日和となり、駅を出て根岸森林公園に向かう坂道では、暑くなり着替えタイムも設けるほどで、予報通り10月並みの暖かさとなり快適な一日でした。ランチ場所の森林公園では「馬の博物館」を見学。ここでは洋式競馬の発祥の地でもある「根岸競馬場」関連の展示物と、日本の馬文化伝来等の各種資料も見ることが出来ました。

公園から三殿台遺跡までは結構なアップダウンがあり、特に三殿台前の“心臓破り”の急坂は足に堪えました。流石にこの時期は午後になると陽も傾きはじめ、皆さんの歩く後から長い影がってきます。その影に背中を押されるように、坂東14番札所で横浜最古の寺院でもある弘明寺まで、全員無事に辿り着くことが出来ました。

<フォトレポート 小島>



<青空の下、家族連れで賑わう根岸森林公園の芝生広場で午後の部スタート前に全員集合>



朝の根岸駅前。○を付けながら連絡もなく来ない人がいた。



近くの空スペースを使い熊坂さんのストレッチから。



ここで平石リーダーより本日のコース説明。



今月入会の篠政子さん。皆さん宜しく！



駅前から向かったのは白滝不動尊。いきなりの上りも、このまま長い階段を行かないのがせめてもの救いだった！



代わりに階段を避けて七曲りの坂道に行くことに。



確かに一直線の上りよりは楽だが急階段には違いない。



かつてはこの下に海が広がっていた。まだまだ続く上り坂、ストレッチをもっと真剣にやっておくべきだった！



七曲りを終え一息と思ったらまた坂道？

ここでお着替え休憩タイム。(誰？じっと見てはダメですよ！)



根岸森林公園の一角にある「馬の博物館」は希望者のみの見学。



もともと居留外国人の娯楽として始まった根岸競馬場は、やがて日本人の社交場ともなった。↑明治40年頃の光景。





博物館に入らなかった組は既に“早弁”で休憩中。



見学組も合流し公園事務所テラスでランチタイムとなった。



食事を終えてリーダーが皆さんを連れて行く先は・・・



単にここで集合写真を撮るためだけだった！（Lのお好み？）



という訳で、また逆戻りし次の場所へ向かう。



公園の場所が高台なので何処も坂だらけ。



この急坂からは三殿台が遠望できた。



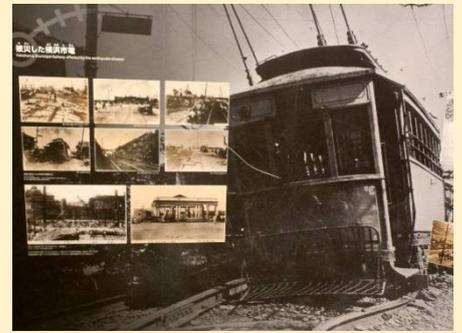
下界に下りてくると掘割川はまるで鏡のよう。



横浜市電保存館は全員が入館。



初めての人には興味が湧く。



戦災で焼かれた市電の姿。



今にも走り出しそうな綺麗な市電。



運転が体験できるゲーム機。



子供が喜ぶ鉄道ジオラマ。大人も？



昭和の香りの丸山日用品市場。美空ひばりの親族の方が魚屋を営んでいる。(休日で市場は休みか)



「永眠しました」と閉店の焼鳥屋...



階段状の珍しい橋があった。



その名も「高橋」。確かに高かった！



ここで階段組と坂道組に分かれて上る。



途中略。三殿台遺跡に到着しやっと一息。



★注:この三殿台遺跡は、縄文から古墳時代にわたり約270軒の竪穴式住居跡が複雑に重なり合った遺跡で、標高55mの丘の上に造られました。現在遺跡の一部は学校用地となっていますが、昭和41年には国の指定遺跡となっています。



<縄文・弥生・古墳時代の住人に敬意を表し竪穴式住居前で全員集合。皆さんのルーツは縄文 or 弥生系?>



後方の三殿台から住宅地に下りてきた。



やれやれひと安心と思った人はまだ甘い・・・



ここからは急階段の連続。手摺を頼りに慎重に下りる。



一つ下りたらまた階段。この場所、買い物はどうするの？



やっと平地に。夕暮れの気配が濃くなってきた。



弘明寺かんのん通り商店街。市営地下鉄入口は右下。



本堂へは最後の階段を上って行く。



身代地蔵。身体の治したい箇所を撫でる。



コロナ平癒を願ってお賽銭は多めで。



境内で解散。皆さんお疲れ様でした！

=参考までに=

◆弘明寺◆

弘明寺(ぐみょうじ)は、横浜市南区にある高野山真言宗の寺院。瑞應山蓮華院と号し、横浜市内最古の寺院。本尊の木造十一面観音立像(通称「弘明寺 観音」)は、国の重要文化財。寺名は駅名、町名などにも広く使われ、江戸期から明治 22 年までは一帯を弘明寺村(のちに弘明寺町)と呼んでいた。

◆坂東33札所◆

その昔、足柄山や箱根の坂の東一帯は坂東と呼ばれており、その坂東の武者たちは、源平の合戦に九州にまで歩みを進めました。源平の戦いの後、敵味方を問わない供養や永い平和への祈願が盛んになり、源頼朝の篤い観音信仰と、多くの武者が西国で見聞した西国三十三観音霊場への想いなどが結びつき、鎌倉時代の初期に坂東三十三観音霊場が開設された。やがて、秩父三十四観音霊場を加えた日本百観音霊場へと発展し今日に至っている。

源実朝の没後、わずか十五年後のこと、天福二年(1234)に坂東札所が実際に巡られていたことを示す確実な史料がある。それは福島県東白河郡八槻村の都々古別神社に残る観音像造立についての「墨書銘」であり、坂東札所の歴史を知るうえで貴重なものである。それによると僧、多分、山伏であったろうが成弁なる者が三十三カ所を巡礼中、常陸八溝山観音堂に三百力日参籠、別当の求めに応じて観音像を彫造したといわれている。(説明文はパンフレット&Web サイトより引用)

<今日の一言>

距離延長を覚悟していた皆さんも逆に短くなって気抜けした(?)。市街地歩きでは今日の距離くらいが丁度良いのでは。

END